

城南協組だより

■第56期通常総会を開催

去る6月17日(木)午後2時30分よりJR蒲田駅西口プラザ・アペアにて第56期通常総会が開催されました。司会の加川一江理事により開会が宣言され、出席者数が発表されました。組合員数86名、本人出席35名、委任状出席31名、計66名の出席により総会が法的に有効数を満たしていることが確認されました。次第に従い植田理事長が挨拶されました。



▲植田昌宏理事長

本日はお忙しい中、総会にご出席いただきましてありがとうございます。昨年を振り返ってみますと、荷動きが停滞し、たいへん厳しい年となり、組合では組合員数が9社減り86社となり

ました。中でも2社が倒産したことはたいへん残念なことでした。後の決算報告でご説明しますが、これら倒産により組合が受けた損害に対し、損失処理と貸倒引当せざるを得ないことにお詫び申し上げます。そして役員として一定期間の報酬返上で十分とはいえないまでも責任を取ることといたしました。今後事業の業績を向上させ穴埋めできればと思いますので、何卒ご理解いただきました

くお願いします。昨年度の組合事業では、組合員の厳しい経営環境を踏まえ、燃料代金の50銭引下げ、高速道路上乗せ割引1%を7ヶ月間前倒しで実施しました。その他資金繰り支援のため、9月に緊急特別貸付実施しました。結果組合全体の通期実績では、出資配当を例年並の年3%、629万の利用分量配当を行うことができたのは組合員みなさまのご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、今現在の組合事業についてお話ししますと、まず平和島共同施設2・3階部分が昨年12月から空きのままであり、また借上げしている共同車庫において一部に空きが発生し、今後解約の予定があると聞いております。車庫は利用組合員の経営にきわめて重要な問題であり、組合収支だけで事業存廃を決めるわけにはいきません。ぜひとも知恵を絞っていかねばならないと思います。そして高速道路通行料金割引制度の問題も、近いうちに方向性が出されるものと思いますが、先行きが不透明なまま。さらに軽油ですが、昨年3月が底値で以降毎月上昇を続け、今では20円も上がっています。燃料価格には十分に注意を払ってゆかなければなりません。こうした中、昨年8月から5回にわたり「今後の協同組合検討委員会」を開催しましたが、そこで検討提案された対応策を取ってゆきます。また職員の組合員訪問でさまざまな要望の吸収、リニューアルした組合WEBサイトを活用し組合員と組合、外部への情報伝達・情報交換の促進を図り事業活性化に務めます。そして羽田の国際貨物の引受体制の準備を進めなければなりません。こうした今年度の事業の柱をもとに事業展開しますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第56期通常総会開催

東京国際空港貨物ターミナル「トラック誘導システム」説明会開催

理事会の窓 業務日誌

No.192 2010.6.30



▲梶初男副理事長

続いて司会者一任の声を受け、梶初男副理事長が議長に選出され、議案の審議に入りました。

第1号議案

平成21年度事業報告ならびに決算承認および剰余金処分決定の件（監査報告）

1. 当期末処分剰余金	
当期純利益金	12,874,226
前期繰越金	2,275,313
2. 剰余金処分数額	
教育情報費用繰越金	800,000
特別積立金	1,600,000
建物修繕積立金	1,500,000
出資配当金（年3%）	2,925,960
利用分量配当金	6,292,600
処分数額合計	13,118,560
3. 次期繰越金	2,030,979

第2号議案

平成22年度事業計画、収支予算ならびに経費の賦課金およびその徴収方法の件

収支予算	(円)
事業収入計	1,119,960,200
事業支出計	964,110,000
事業収益計	155,850,200
賦課金収入	16,443,600
事業総利益	172,293,800
一般管理費	137,360,000
事業利益	34,933,800
事業外収入	7,110,000
事業外支出	16,520,000
経常利益	25,523,800
特別収入	906,200
予備費	26,430,000
法人税等	4,000,000
税引後予備費	22,430,000

①本年度の賦課金総額は16,443,600円とし次の方法により徴収する。ただし、普通自動車1両を小型自動車（標記トン数2トンまで）2両に換算し他府県ナンバーの車両を含めた全保有車両とする。ただし、貨物軽自動車事

業専門者に限り軽自動車は小型自動車に準ずる（3月末日現在の車両）。

- ・店頭割会費1社（店）月額7,500円
 - ・車両割会費1両につき300円
- ただし、賦課金の1ヶ月限度額は25,000円とする

②徴収方法

年4期に分けてその期の初めに当期3ヶ月分を前納するものとする。

第3号議案

平成22年度借入金残高の最高限度額決定の件
本年度の借入金残高の最高限度額は40億円とする。

第4号議案

一組合員に対する最高貸付（手形割引・転貸金を含む）限度額ならびに保証限度額の件

- ・最高貸付限度額 6,000万円
- ・補償限度額 本年度は実施しない

第5号議案

本年度の役員報酬は予算（案）記載のとおり、理事については年間総額1,156万円、監事については年間総額54万円以内、総額1,210万円を限度として支給する。

1～5号議案上程の都度議長が議場に諮ったところ、すべての議案は満場一致で原案どおり可決決定しました。最後に、出席者から緊急動議として、この10月に東京国際空港貨物ターミナル開業を迎え、われわれ運送事業者の生産用具である車両のナンバーを”品川”から”羽田”へ変更できないか（羽田ナンバーの実現）との提案がありました。議長は議場へ提案について諮ったところ、賛成多数により提案実現に向けての取組推進が確認され、以上をもって総会は閉会となりました。

引き続き、大田支部の平成22年度通常総会が行われ、ご来賓の矢田淑雄関東運輸局東京運輸支局長、大高一夫東ト協会会長代行・東貨健保理事長、金子哲昭大森警察署長、高橋利光大田労基署長、各党衆議院議員・都議会議員、浅井時郎全ト協名誉会長・東京都各種団体協議会会長、植田昌宏東ト協連会長、長谷川裕二商工中金大森支店長から祝辞を頂きました。

■「トラック誘導システム」説明会を開催

去る6月8日(火)午後3:00よりプラザア・ペアにて東京国際空港国際線地区貨物ターミナル「トラック誘導システム」の説明会が開催され、組合員・大田支部員約100名のみなさんが参加しました。



東京国際エアカーゴターミナル(株) 航空物流本部 大平本部長補佐

東京国際エアカーゴターミナル(株)は、2006年に会社を立ち上げ、今年10月に貨物ターミナルをオープンします。5月末時点で95%の施設が完成しています。このターミナルでは新しい試みとして「トラック誘導システム」を導入します。このシステムを十分にご理解いただき、必要な手続きにご協力いただけますようお願いいたします。



東京国際エアカーゴターミナル(株) 航空物流本部 事業推進部開発営業課 後藤副主任

トラック誘導システムの目的

トラック誘導システムは、2010年10月21日からの供用開始に向けて、セキュリティ水準の確保、入場ゲート混雑防止、ターミナル内の円滑な運営を目的として計画されました。

ターミナル内の施設と動線

ターミナル内には、第1国際貨物ビル(TIACT輸入上屋・フォワーディングサポートセンター・TIACT輸出上屋・生鮮上屋)、第2国際貨物ビル(エアライン・フォワーダー)、第1・第2トラック待機所(計180台)、一般駐車場、CQ合同庁舎(税関・検疫)が配置されます。事前登録入場申告済み車両が第1入場ゲートを通過、そして第2入場ゲートで行先・目的確認と誘導票を発行します。行先上屋のトラックドックが空きの場合は管理ゲートへ進みます。待機が必要な場合はトラック待機場場へ向かい、呼出しがあると管理ゲートへ向かいます。尚、呼出し方法は携帯もしくは携帯メールを利用します。また、トラック待機場併設の待機所でもモニターで呼

出し状況が確認できます。

構内入場手続き

一度の申請のみ	会社登録	<ul style="list-style-type: none"> TIACT入構すべての事業者が対象 承認後、会社ID・パスワードを配布 7月末までは、TIACTホームページ上の会社登録申請用ファイルで申請。8月以降、WEB画面で申請 			
	事前登録	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #00aaff; color: white; text-align: center;">利用者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 貨物の搬出入のために入場する事業者ドライバー・同乗者が対象 申請用ファイルまたはWEB等で登録 承認後、【利用者入構証】(3年間有効・発行手数料¥525)を配布 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #00aaff; color: white; text-align: center;">車両</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 輸出入貨物の搬出入のために入場する車両等が対象 申請用ファイルまたはWEB等で登録 承認後、【車両入構証】(3年間有効・発行手数料¥525)を配布 </td> </tr> </table>	利用者	<ul style="list-style-type: none"> 貨物の搬出入のために入場する事業者ドライバー・同乗者が対象 申請用ファイルまたはWEB等で登録 承認後、【利用者入構証】(3年間有効・発行手数料¥525)を配布 	車両
利用者	<ul style="list-style-type: none"> 貨物の搬出入のために入場する事業者ドライバー・同乗者が対象 申請用ファイルまたはWEB等で登録 承認後、【利用者入構証】(3年間有効・発行手数料¥525)を配布 				
車両	<ul style="list-style-type: none"> 輸出入貨物の搬出入のために入場する車両等が対象 申請用ファイルまたはWEB等で登録 承認後、【車両入構証】(3年間有効・発行手数料¥525)を配布 				
都度申告	入場申告	<ul style="list-style-type: none"> 来場までにTIACTホームページから申告 <STEP1>…入場目的・行先 <STEP2>…貨物詳細 <STEP3>…利用者情報・車両番号を入力すると、【入場申告受付番号】が発行されます 自社で入力した全ての入場申告の一覧閲覧も可 車両ステータス(入場前・待機中・作業中)の確認が可能 			

9月15日までに事前登録を実施すると発行手数料が無料のキャンペーン実施中です。

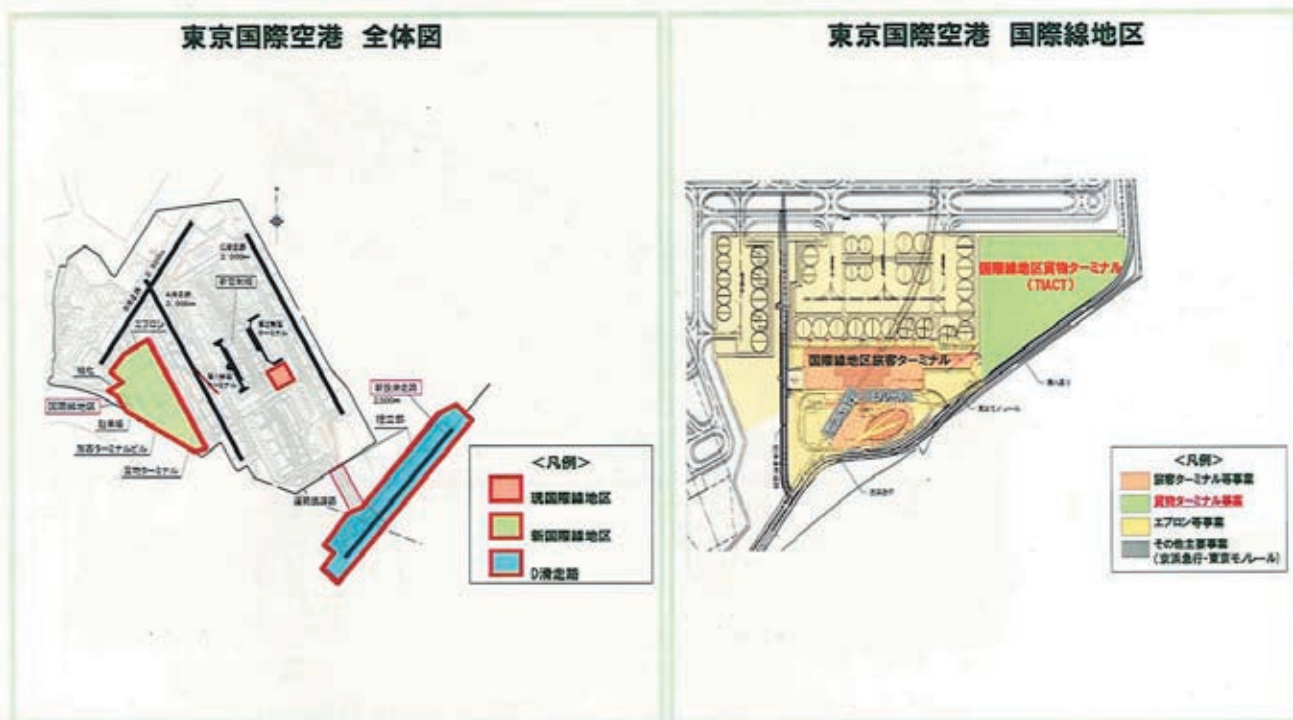
入場ゲートでの認証

第1入場ゲート	【利用者入構証】、【車両入構証】をダッシュボード上に提示 ↓ セキュリティチェック ↓ ゲートオープン
第2入場ゲート	【車両入構証】をダッシュボード上に提示 ↓ 行先・目的確認 ↓ 誘導票の発行、誘導指示

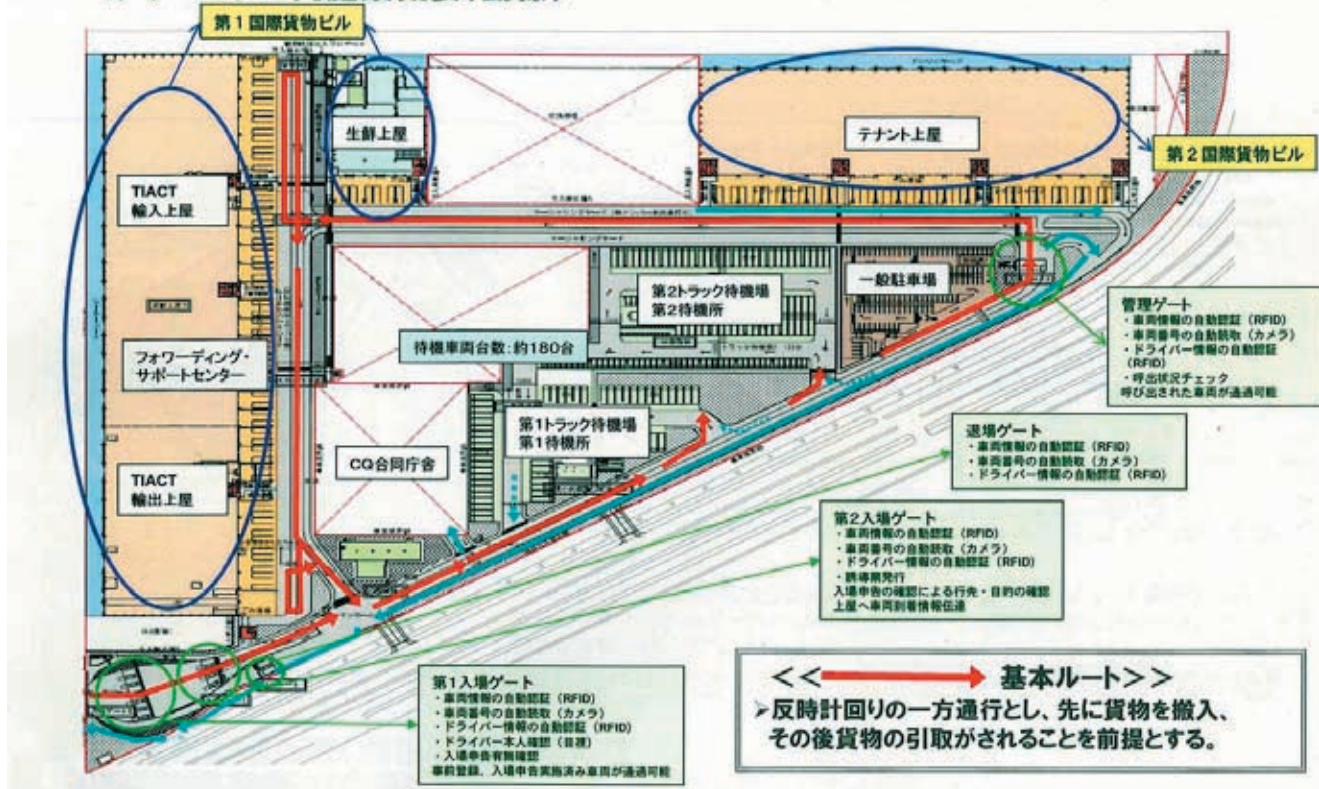
トラック誘導の概要

誘導票の発行と誘導指示	第2入場ゲートで発行される「誘導票」記載順に従いトラックを移動させます
待機場での呼出し	待機が必要な場合はトラック待機場場へ向かいます。待機車両へは、ドライバーの携帯電話または休憩所のモニターで呼出しを確認します

3. 東京国際空港(羽田) 国際線地区



4. ターミナル内施設概要(動線)



Copyright ©2010Tokyo International Air Cargo Terminal Ltd. All Rights Reserved.

さらに詳しい内容や「説明会資料」の入手には、<http://www.tiact.co.jp> へアクセスして下さい。

■理事会の窓 平成22年度

第1回

日時 平成22年4月9日(金)

場所 組合会館5階会議室

出席 9名

議事

1. 平成22年度事業計画と収支予算の件
2. 平和島施設の共同施設委員会答申の件
3. 金融貸付審査1社1件手形貸付承認の件
4. 羽田空港貨物ターミナル関係の件
5. 3月軽油ガソリン仕入価格の件

第2回

日時 平成22年4月22日(木)

場所 組合会館5F会議室

出席 8名

議事

1. 金融貸付審査1社1件車両貸付承認の件
2. 5月転貸信用評定委員会の件
3. 平成21年度決算の件
4. 羽田空港貨物ターミナル関係の件

第3回

日時 平成22年5月18日(火)

場所 組合会館5階会議室

出席 8名

議事

1. 組合員代表者変更届出の件
2. 金融貸付審査1社1件車両貸付承認の件
3. 4月軽油ガソリン仕入価格の件
4. 大田区政に関する要望書の件
5. 大田区中小企業融資制度の件
6. 平成21年度決算の件

第4回

日時 平成22年6月1日(火)

場所 組合会館5階会議室

出席 10名

議事

1. 金融貸付審査1社1件車両貸付承認の件
2. 5月軽油ガソリン仕入価格の件
3. 21年度法人税等納税の件
4. 高速通行料還元預かり金返還の件
5. 評議員会開催の件
6. 東京国際貨物ターミナル説明会開催の件

第5回

日時 平成22年6月17日(木)

場所 プラザ ア・ペア

出席 9名

議事

1. 第56期通常総会の件
2. 平成21年度配当支払の件

自動車保険を交通共済に切り替えてみませんか。

トラックの交通事故防止情報や安全教育・推進グッズのご提供、安全機器装着・導入助成や、運転記録証明交付手数料等の補助、特別指導講習の無料受講その他いろいろなサービスをご用意！

**関東交通共済協同組合は、事故処理サービスとともに、
運送事業者皆様の事故防止対策を応援します。**

*下記まで掛金見積もりをご用意ください。



●トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止●

関東交通共済協同組合

ホームページアドレス <http://www.kankokyo.or.jp>

事業推進部・営業推進課 Tel.03(5337)1753 直通



見直しませんか、会社の経費

**契約拡大
キャンペーン実施中!**

■業務日誌

- 4月 26日(月) 共同受注委員会
- 5月 7日(金) 監査会
三役会
27日(木) 三役会
- 6月 1日(火) 理事会
評議員会
7日(月) 共同施設委員会
8日(火) 羽田国際空港ターミナル説明会
11日(金) 三役会
17日(木) 理事会
第56期通常総会
- 7月 1日(木) 三役会

■訃報

4日8日 濱口英男 殿 逝去
(株)トーリク 社長
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

■代表者変更届出

5月17日 (株)トーリク
(新) 松尾 雄 殿 (旧) 故濱口英男 殿

■編集後記

日貨協連は「組合運営の安定化を図る為の事業展開」をパネルディスカッションした。その中で高速道路料金割引の拡大、景気低迷による高速道路利用減少によって大口割引の適用条件割れが増え、問題化している。組合運営が「高速道路利用」依存型から転換をしなければならない時が来るだろう。今後、城南運送組合でも高速道路利用による大口割引、手数料収入等が減少すれば組合運営に多大な影響が出てくる。羽田空港国際貨物ターミナルオープンは組合員にとって新たな事業の転換点になるかもしれない。

城南協組だより 第192号
編集人 岡村重信 / 広報委員会
発行日 22年6月30日
ホームページ www.jntrans.or.jp
メールアドレス info@jntrans.or.jp